

平成27年度計算書類及び附属明細書

1 平成27年4月1日から平成28年3月31日までの
計算書類等

【計算書類等】

貸借対照表

貸借対照表内訳表

正味財産増減計算書

正味財産増減計算書内訳表

財務諸表に対する注記

附属明細書

財産目録

キャッシュ・フロー計算書

収支計算書

貸借対照表

平成28年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	452,678,460	367,966,712	84,711,748
普通預金	452,678,460	359,966,712	92,711,748
定期預金	0	8,000,000	△ 8,000,000
未収利息	0	4,931,500	△ 4,931,500
未収金	1,976,479	4,870,224	△ 2,893,745
流動資産合計	454,654,939	377,768,436	76,886,503
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産引当預金	10,000,000	10,000,000	0
基本財産合計	10,000,000	10,000,000	0
(2) 特定資産			
投資有価証券	0	100,000,000,000	△ 100,000,000,000
特定資産合計	0	100,000,000,000	△ 100,000,000,000
(3) その他固定資産			
長期前払費用	0	266,274	△ 266,274
その他固定資産合計	0	266,274	△ 266,274
固定資産合計	10,000,000	100,010,266,274	△ 100,000,266,274
資産合計	464,654,939	100,388,034,710	△ 99,923,379,771
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	268,612,966	190,433,733	78,179,233
流動負債合計	268,612,966	190,433,733	78,179,233
2. 固定負債			
長期借入金	0	100,000,000,000	△ 100,000,000,000
固定負債合計	0	100,000,000,000	△ 100,000,000,000
負債合計	268,612,966	100,190,433,733	△ 99,921,820,767
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
宮崎県出捐金	10,000,000	10,000,000	0
指定正味財産合計	10,000,000	10,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(10,000,000)	(10,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産	186,041,973	187,600,977	△ 1,559,004
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	196,041,973	197,600,977	△ 1,559,004
負債及び正味財産合計	464,654,939	100,388,034,710	△ 99,923,379,771

貸借対照表内訳表

平成28年3月31日現在

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合 計
I 資産の部				
1. 流動資産				
現金預金	445,931,441	6,747,019		452,678,460
普通預金	445,931,441	6,747,019		452,678,460
定期預金	0	0		0
未収利息	0	0		0
未収金	1,976,479	0		1,976,479
流動資産合計	447,907,920	6,747,019		454,654,939
2. 固定資産				
(1) 基本財産				
基本財産引当預金	0	10,000,000		10,000,000
基本財産合計	0	10,000,000		10,000,000
(2) 特定資産				
投資有価証券	0	0		0
特定資産合計	0	0		0
(3) その他固定資産				
長期前払費用	0	0		0
その他固定資産合計	0	0		0
固定資産合計	0	10,000,000		10,000,000
資産合計	447,907,920	16,747,019		464,654,939
II 負債の部				
1. 流動負債				
未払金	268,277,555	335,411		268,612,966
流動負債合計	268,277,555	335,411		268,612,966
2. 固定負債				
長期借入金	0	0		0
固定負債合計		0		0
負債合計	268,277,555	335,411		268,612,966
III 正味財産の部				
1. 指定正味財産				
宮崎県出捐金	0	10,000,000		10,000,000
指定正味財産合計	0	10,000,000		10,000,000
(うち基本財産への充当額)	(0)	(10,000,000)	()	(10,000,000)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	()	(0)
2. 一般正味財産	179,630,365	6,411,608		186,041,973
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	()	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	()	(0)
正味財産合計	179,630,365	16,411,608		196,041,973
負債及び正味財産合計	447,907,920	16,747,019		464,654,939

正味財産増減計算書

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	11,410	4,200	7,210
基本財産受取利息	11,410	4,200	7,210
② 特定資産運用益	595,068,500	600,000,000	△ 4,931,500
特定資産受取利息	595,068,500	600,000,000	△ 4,931,500
③ 雑収益	74,668	55,027	19,641
受取利息	74,668	55,027	19,641
経常収益計	595,154,578	600,059,227	△ 4,904,649
(2) 経常費用			
① 事業費	589,671,952	669,660,282	△ 79,988,330
会議費	0	0	0
通信運搬費	0	32,400	△ 32,400
保険料	0	2,940	△ 2,940
旅費交通費	0	0	0
印刷製本費	0	0	0
消耗品費	225,880	0	225,880
賃借料	336,582	283,553	53,029
租税公課	0	200	△ 200
諸謝金	0	8,000	△ 8,000
支払助成金	587,552,994	667,484,439	△ 79,931,445
委託費	1,509,840	486,000	1,023,840
広告宣伝費	0	1,072,440	△ 1,072,440
雑費	0	243,330	△ 243,330
支払手数料	46,656	46,980	△ 324
② 管理費	7,041,630	6,758,646	282,984
給料手当	3,291,265	3,192,040	99,225
福利厚生費	1,529,538	1,342,588	186,950
会議費	2,370	1,850	520
旅費交通費	244,682	290,785	△ 46,103
通信運搬費	75,644	77,618	△ 1,974
消耗品費	89,144	41,142	48,002
賃借料	278,103	300,348	△ 22,245
諸謝金	1,469,880	1,452,195	17,685
租税公課	24,500	23,300	1,200
支払手数料	36,504	36,780	△ 276
経常費用計	596,713,582	676,418,928	△ 79,705,346
当期経常増減額	△ 1,559,004	△ 76,359,701	74,800,697
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 1,559,004	△ 76,359,701	74,800,697
一般正味財産期首残高	187,600,977	263,960,678	△ 76,359,701
一般正味財産期末残高	186,041,973	187,600,977	△ 1,559,004
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益	11,410	4,200	7,210
一般正味財産への振替額	△ 11,410	△ 4,200	△ 7,210
当期指定正味財産増減額			0
指定正味財産期首残高	10,000,000	10,000,000	0
指定正味財産期末残高	10,000,000	10,000,000	0
III 正味財産期末残高	196,041,973	197,600,977	△ 1,559,004

正味財産増減計算書内訳表

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合 計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益	0	11,410		11,410
基本財産受取利息	0	11,410		11,410
② 特定資産運用益	595,068,500	0		595,068,500
特定資産受取利息	595,068,500	0		595,068,500
③ 雑収益	72,042	2,626		74,668
受取利息	72,042	2,626		74,668
経常収益計	595,140,542	14,036		595,154,578
(2) 経常費用				
① 事業費	589,671,952			589,671,952
会議費				0
通信運搬費				0
保険料				0
旅費交通費				0
印刷製本費				0
消耗品費	225,880			225,880
賃借料	336,582			336,582
諸謝金				0
租税公課				0
支払助成金	587,552,994			587,552,994
委託費	1,509,840			1,509,840
広告宣伝費				0
雑費				0
支払手数料	46,656			46,656
② 管理費		7,041,630		7,041,630
給料手当		3,291,265		3,291,265
福利厚生費		1,529,538		1,529,538
会議費		2,370		2,370
旅費交通費		244,682		244,682
通信運搬費		75,644		75,644
消耗品費		89,144		89,144
賃借料		278,103		278,103
諸謝金		1,469,880		1,469,880
租税公課		24,500		24,500
支払手数料		36,504		36,504
経常費用計	589,671,952	7,041,630		596,713,582
当期経常増減額	5,468,590	△ 7,027,594		△ 1,559,004
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0		0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0		0
当期経常外増減額	0	0		0
当期一般正味財産増減額	5,468,590	△ 7,027,594		△ 1,559,004
一般正味財産期首残高	174,161,775	13,439,202		187,600,977
一般正味財産期末残高	179,630,365	6,411,608		186,041,973
II 指定正味財産増減の部				
基本財産運用益	0	11,410		11,410
一般正味財産への振替額	0	△ 11,410		△ 11,410
当期指定正味財産増減額	0	0		0
指定正味財産期首残高	0	10,000,000		10,000,000
指定正味財産期末残高	0	10,000,000		10,000,000
III 正味財産期末残高	179,630,365	16,411,608		196,041,973

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
投資有価証券の評価基準は原価法によっている。
- (2) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基本財産引当預金	10,000,000	0	0	10,000,000
小計	10,000,000	0	0	10,000,000
特定資産				
投資有価証券	100,000,000,000	0	100,000,000,000	0
小計	100,000,000,000	0	100,000,000,000	0
合計	100,010,000,000	0	100,000,000,000	10,000,000

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
基本財産引当預金	10,000,000	10,000,000		
合計	10,000,000	10,000,000		0

4 キャッシュ・フロー計算書の資金の範囲

要求払預金及び取得日から3ヶ月以内に満期日の到来する流動性の高い、容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なりスクしか負わない短期的な投資からなっている。

なお、現金及び現金同等物の残高と貸借対照表に掲記されている金額との関係は以下のとおりである。

(単位：円)

	前期末		当期末
現金預金勘定	367,966,712	現金預金勘定	452,678,460
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	8,000,000	預入期間が3ヶ月を超える定期預金	0
現金及び現金同等物	359,966,712	現金及び現金同等物	452,678,460

以上

附属明細書

1 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記2で記載しているので省略する。

以上

財 産 目 録

平成28年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的	金額
(流動資産)			
預金	普通預金 宮崎銀行県庁支店(65080) 普通預金 宮崎銀行県庁支店(73073) 平成27年度ファンド事業助成金返還額	運営費資金として ファンド事業費資金として 助成事業6件分	6,747,019 445,931,441 1,976,479
未収金			454,654,939
流動資産合計			
(固定資産)			
基本財産引当預金	定期預金 宮崎銀行県庁支店	基本財産として	10,000,000
基本財産			10,000,000
固定資産合計			464,654,939
資産合計			
(流動負債)			
未払金	平成27年度管理費未払額 平成27年度ファンド事業助成金未払額	平成28年3月分給料手当及び賃借料等 助成事業24件分	335,411 268,277,555
流動負債合計			268,612,966
負債合計			268,612,966
正味財産			196,041,973

キャッシュ・フロー計算書

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 事業活動に係るキャッシュ・フロー			
1. 当期一般正味財産増減額	△ 1,559,004	△ 76,359,701	74,800,697
2. キャッシュフローへの調整額			
未収金の増減額	2,893,745	6,015,852	△ 3,122,107
未払金の増減額	78,179,233	25,872,939	52,306,294
未収利息の増減額	4,931,500	0	4,931,500
その他	266,274	266,273	1
小計	86,270,752	32,155,064	54,115,688
3. 指定正味財産増加収入			
事業活動によるキャッシュ・フロー	84,711,748	△ 44,204,637	128,916,385
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
1. 投資活動収入			
定期預金・積金の増減額	8,000,000	8,000,000	0
投資活動収入計	8,000,000	8,000,000	0
2. 投資活動支出			
長期前払費用取得支出	0	0	0
投資活動支出計	0	0	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	8,000,000	8,000,000	0
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			
財務活動支出計	0	0	0
財務活動によるキャッシュ・フロー			
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額			
V 現金及び現金同等物の増減額	92,711,748	△ 36,204,637	128,916,385
VI 現金及び現金同等物の期首残高	359,966,712	396,171,349	△ 36,204,637
VII 現金及び現金同等物の期末残高	452,678,460	359,966,712	92,711,748

収支計算書（損益計算方式）

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	4,000	11,410	△ 7,410
基本財産受取利息	4,000	11,410	△ 7,410
② 特定資産運用益	600,000,000	595,068,500	4,931,500
特定資産受取利息	600,000,000	595,068,500	4,931,500
④ 雑収益	58,000	74,668	△ 16,668
受取利息	58,000	74,668	△ 16,668
経常収益計	600,062,000	595,154,578	4,907,422
(2) 経常費用			
① 事業費	687,000,000	589,671,952	97,328,048
会議費支出	50,000	0	50,000
通信運搬費支出	0	0	0
保険料支出	0	0	0
旅費交通費支出	100,000	0	100,000
印刷製本費支出	550,000	0	550,000
消耗品費支出	0	225,880	△ 225,880
賃借料支出	50,000	336,582	△ 286,582
租税公課支出	0	0	0
諸謝金支出	200,000	0	200,000
支払助成金支出	682,000,000	587,552,994	94,447,006
委託費支出	4,000,000	1,509,840	2,490,160
広告宣伝費支出	0	0	0
雑費支出	0	0	0
支払手数料支出	0	46,656	△ 46,656
減価償却費支出	0	0	0
② 管理費	7,530,000	7,041,630	488,370
給料手当支出	3,950,000	3,291,265	658,735
福利厚生費支出	1,350,000	1,529,538	△ 179,538
会議費支出	8,000	2,370	5,630
旅費交通費支出	74,000	244,682	△ 170,682
通信運搬費支出	120,000	75,644	44,356
消耗品費支出	100,000	89,144	10,856
賃借料支出	340,000	278,103	61,897
諸謝金支出	1,470,000	1,469,880	120
租税公課支出	30,000	24,500	5,500
支払手数料支出	80,000	36,504	43,496
雑費支出	8,000	0	8,000
経常費用計	694,530,000	596,713,582	97,816,418
当期経常増減額	△ 94,468,000	△ 1,559,004	△ 92,908,996
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 94,468,000	△ 1,559,004	△ 92,908,996
一般正味財産期首残高	100,500,000	187,600,977	△ 87,100,977
一般正味財産期末残高	6,032,000	186,041,973	△ 180,009,973
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益	0	11,410	△ 11,410
一般正味財産への振替額	0	△ 11,410	11,410
当期指定正味財産増減額			
指定正味財産期首残高	10,000,000	10,000,000	0
指定正味財産期末残高	10,000,000	10,000,000	0
III 正味財産期末残高	16,032,000	196,041,973	△ 180,009,973

2 會計監査人監査報告

独立監査人の監査報告書

平成28年5月16日

公益財団法人宮崎県口蹄疫復興財団
理事長 内田 欽也 殿

清家公認会計士事務所

公認会計士 清家 秀夫



<財務諸表監査>

私は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第23条の規定に基づき、公益財団法人宮崎県口蹄疫復興財団の平成27年4月1日から平成28年3月31日までの平成27年度事業の貸借対照表及び損益計算書（公益認定等ガイドラインI-5(1)の定めによる「正味財産増減計算書」をいう。）並びにその附属明細書並びにキャッシュ・フロー計算書並びに財務諸表に対する注記について監査し、併せて、貸借対照表内訳表及び正味財産増減計算書内訳表（以下、これらの監査の対象書類を「財務諸表等」という。）について監査を行った。

財務諸表等に対する理事者の責任

理事者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して財務諸表等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表等を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

私の責任は、私が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。私は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、私に財務諸表等に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表等の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、私の判断により、不正又は誤謬による財務諸表等の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、私は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表等の作成と適正な

表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、理事者が採用した会計方針及びその適用方法並びに理事者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表等の表示を検討することが含まれる。

私は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

私は、上記の財務諸表等が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、当該財務諸表等に係る期間の財産、損益（正味財産増減）及びキャッシュ・フローの状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

<財産目録に対する意見>

私は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第23条の規定に基づき、公益財団法人宮崎県口蹄疫復興財団の平成28年3月31日現在の平成27年度事業の財産目録（「貸借対照表科目」、「金額」及び「使用目的等」の欄に限る。以下同じ。）について監査を行った。

財産目録に対する理事者の責任

理事者の責任は、財産目録を、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠するとともに、公益認定関係書類と整合して作成することにある。

監査人の責任

私の責任は、財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合して作成されているかについて意見を表明することにある。

財産目録に対する監査意見

私は、上記の財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合して作成されているものと認める。

利害関係

公益財団法人宮崎県口蹄疫復興財団と私との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

3 監事監查報告

監査報告書

平成28年5月16日

公益財団法人宮崎県口蹄疫復興財団
理事長 内田 欽也 殿

監事 川崎 康司 

監事 永山 英也 

私たち監事は、当財団の平成27年4月1日から平成28年3月31日までの平成26年度の理事の職務の執行について監査を行いましたので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第197条において準用する第99条第1項並びに公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律施行規則第33条第2項の規定に基づき本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事等からその職務の執行について報告を受け、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。

以上の方法によって、当該年度に係る事業報告及びその附属明細書を監査しました。

さらに、会計監査人から、当該年度の監査を行うに当たり特に考慮した監査上の危険、監査計画及び実施した監査手続き等の報告を受け、会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正に監査を行っていることを確認しました。

以上の方法によって、当該年度に係る計算書類及びその附属明細書並びに財産目録等を監査しました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当財団の状況を正しく示していると認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。
- ③ 事業報告に記載されている理事の職務の執行は、相当であると認めます。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録等の監査結果

会計監査人清家秀夫氏の監査の方法及び結果は、相当であると認めます。

以上